

新規喀血患者の受け入れと喀血専門外来の再開に関して

医療機関様へ

喀血ならびに反復性血痰等の気道・肺出血の患者様をご紹介下さる先生方ならびに医療機関様におかれましては、平素より大変お世話になっております。血管造影 X 線診断装置の更新工事が完了し、新規に導入した PHILIPS 社 Azurion 7 M20 により、現在入院中の喀血患者様に対して、喀血に対する気管支動脈塞栓術 BAE を始動しております。従来の装置と比べ、より高精細な画像が得られ、X 線被曝は半分以下に低減されております。今後、より正確で安全な BAE が提供可能となり、治療時間の短縮化にも繋がると期待しています。

新規の喀血患者の受け入れについては 2024 年 1 月 4 日 (木) より開始し、1 月 9 日 (火) より喀血専門外来も再開致します。喀血患者のご紹介をご検討いただくと幸いです。よろしくお願ひ致します。

喀血や繰り返す血痰に対して当院で金属コイルを用いたカテーテルによる血管を詰める治療を受けたことのある患者様へ

2023 年 11 月 10 日以降、血管造影 X 線診断装置の更新工事に伴い、喀血・反復性血痰に対する金属コイルを用いたカテーテルによる血管塞栓術（気管支動脈塞栓術あるいは BAE と言います）を実施することができない状況でありましたが、新しい血管造影装置である PHILIPS 社 Azurion 7 M20 の設置が完了し、喀血に対する BAE を再開致しました。従来の装置と比べ、治療に必要な細かな画像が得られ、X 線の被曝も半分以下に低減されています。今後はより正確で安全なカテーテル治療を提供できるようになると思います。喀血や血痰の頻度が増え、ご心労を抱えられた患者様におきましては、主治医の先生とご相談のうえで、喀血専門外来への受診をお考え下さい。